別記３　「調査書」の作成について

１　作成に当たっての注意

(1)　鮮明に記入する。なお、必要に応じてゴム印、パーソナルコンピュータ等を用いてもよい。

(2)　記入する数字は、全て算用数字を用いる。ただし、現住所については、漢数字を用いてもよい。

(3)　誤記等のため訂正をする際は、２本線を引いて訂正し、中学校長等の印(私印)を押印する。

(4)　提出する調査書は、原本を複写したものに、中学校長等の職印を押印したものでもよい。

(5)　生徒氏名の表記は、中学校生徒指導要録等に従って記載する。

(6)　「特別の教科 道徳」の評価は記載しない。

２　様式

県教育委員会の定める下記の様式で作成する。

(1)　知的障害がある場合・・・様式３（１１頁）

(2)　知的障害がない場合

ア　令和９年３月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業見込の者、
令和６年３月から令和８年３月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者
・・・様式４－１（１３頁）

イ　令和５年３月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者
・・・様式４－２（１４頁）

ウ　令和４年３月に中学校等若しくは特別支援学校中学部を卒業した者
・・・様式４－３（１５頁）

(3)　中学校等若しくは特別支援学校中学部卒業後５年を経過した者については、卒業証明書及び住民票の提出をもって、調査書の提出に代えることができることとする。

(4)　様式を踏まえれば、パーソナルコンピュータ等により用紙を作成してもよい。

３　作成上の留意点

(1)　「調査書」（様式３）について

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録等に準ずるものであるが、次の点に留意して記入する。（１２頁の[記入例] を参考にする。）

ア　「学籍の記録」
元号、入学、卒業等については、該当事項を〇で囲む。

イ　「学習の記録」
第３学年における主な学習状況を具体的に記入する。

ウ　「学習の記録に関する特記事項」
学習場面における興味・関心、行動特性等について記述する。

エ　「障害の記録」

(ｱ)　「知的障害」については、「障害の状態及び特記事項」の欄に知的障害特別支援学級在籍の有無等を記入する。

(ｲ)　「障害の記録」の「有無」欄については、知的障害以外の障害も有している場合、その該当障害区分に〇を付け、障害の概要等を記載する。

オ　「総合所見」
生徒の学習の状況や生活の状況など全体的特性を総合して、具体的に記入する。

(2)　「調査書」（様式４－１、様式４－２、様式４－３）について

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録等に準ずるものであるが、次の点に留意して記入する。

ア　「受検番号」
空欄とする。

イ　「１　学籍の記録」

(ｱ)　性別については、該当する性別を記入する。

(ｲ)　現住所については、居住する都道府県名から記入する。

ウ　「２　各教科の学習の記録」

(ｱ)　各教科の観点別学習状況の観点ア、イ及びウは、それぞれ「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」に対応する。

(ｲ)　第１学年及び第２学年の観点別学習状況及び評定は、指導要録に記載されたものを転記する。

ただし、観点別学習状況の転記に当たっては、Ａを○とし、Ｂ及びＣは空欄とする。

(ｳ)　第３学年の観点別学習状況は、１２月末までの状況を総合して評価したものを記入する。記入の方法は、前項に準ずる。

(ｴ)　第３学年の評定は、１２月末までの状況を総合して評定としたものを記入する。

なお、全ての生徒について５段階による評定を記入するものとし、上位より「５」、「４」、「３」、「２」、「１」とする。

(ｵ)　特別の教育課程による学習を行う生徒の第３学年の観点別学習状況及び評定は、当該生徒の教育課程及びその評価規準によって評価したものを記入する。その際、「６　参考となる諸事項等の記録」に、特別の教育課程である旨を記載する。

例：「教科○○は特別の教育課程による目標・内容に基づく」等

エ　「３　総合的な学習の時間の記録」

第１～３学年における「総合的な学習の時間」について、主な学習活動及び評価の観点を踏まえて、生徒の学習状況の特徴等を記入する。

オ　「４　特別活動の記録」

学級活動における係名、生徒会活動における役員名、学校行事における役割等を記入する。

カ　「５　行動の記録」

第１学年及び第２学年は指導要録に記載されたものを転記する。第３学年は指導要録の記載に準ずるものとし、十分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入し、他の場合は空欄とする。

キ　「６　参考となる諸事項等の記録」

次のうち特記すべき事項等があれば記入する。

(ｱ)　「１　学籍の記録」、「２　各教科の学習の記録」、「３　総合的な学習の時間の記録」、「４　特別活動の記録」、「５　行動の記録」を補足する事項

(ｲ)　学校生活全体にわたって見られる特徴及び性格等

(ｳ)　部活動等における活動状況等

郡市単位以上の展覧会や各種の大会における活動や実績等

(ｴ)　学校外における活動等

学校教育以外の諸活動における継続的な活動及び個人参加の大会等における優れた成績等

例：青少年教育活動：市町村教育委員会等主催の活動、ボランティア活動 等
自然体験活動：育成会主催の活動、ボーイスカウト、ガールスカウト 等
その他の教育的活動：スポーツ少年団、スポーツクラブ、武道、音楽・書道教室、検定、資格 等

(ｵ)　その他

・その他、特記すべき事項